

製品名: SCAMP1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab17634**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300
分子量	32kDa

抗原情報

遺伝子名	SCAMP1
別名	SCAMP1; SCAMP; Secretory carrier-associated membrane protein 1; Secretory carrier membrane protein 1
遺伝子 ID	9522.0
SwissProt ID	O15126
免疫原	抗血清はヒト SCAMP1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 273-322

背景

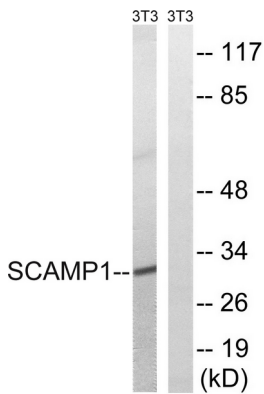
この遺伝子産物は、分泌輸送膜タンパク質である SCAMP ファミリーに属する。これらは、ゴルジ体後リサイクリング経路において

細胞表面への輸送体として機能する。異なるファミリーメンバーは、それぞれ異なる遺伝子から高度に関連性の高い産物であり、通常は共に発現する。これらの知見は、これらのタンパク質ファミリーメンバーが、別々の経路ではなく、小胞輸送において同じ部位で機能する可能性があることを示唆している。この遺伝子の擬遺伝子は 1 番染色体上に定義されている。選択的スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じる。[RefSeq 提供、2014 年 3 月]機能: ゴルジ体後リサイクリング経路で機能する。細胞表面への輸送体として機能する。類似性: SCAMP ファミリーに属する。サブユニット: AP1GBP1 および ITSN1 と相互作用する (類似性による)。SLC9A7 と相互作用する。組織特異性: 広く発現しており、脳で最も高い発現を示す。、

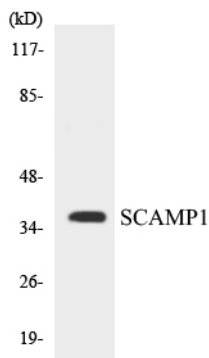
研究分野

神経科学; 神経伝達; 分泌小胞; シグナル伝達; タンパク質輸送; 細胞小器官タンパク質

画像データ



SCAMP1 抗体を用いた NIH/3T3 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロックされている。



SCAMP1 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。